

## 指定管理者評価シート

## 一 管理運営の状況

1	施設名	仙台市南小泉児童館
2	指定管理者	公益財団法人仙台ひと・まち交流財団
3	指定期間	平成29年4月1日から令和4年3月31日まで
4	施設の利用状況	《利用者数》 27,861人 (前年度比 102.3%) 平成30年度 27,230人 平成29年度 27,456人 平成28年度 28,580人
		《事業》 児童に健全な遊びを与え、その健康を増進し、情操を豊かにすることを目的とした児童厚生施設としての事業
5	収支の状況	《費用》 指定管理者に支払った費用 31,729千円 (24,770千円) その他市が負担した費用 0千円 (0千円)
		《収入》 使用料収入 0千円 (0千円) その他収入 0千円 (0千円)
		( )は前年度決算額
6	利用者の声	《実施状況》 利用者アンケート、児童館運営委員会、児童クラブ保護者懇談会を実施。

## 二 管理運営に係る評価

(モニタリングシートの結果によって評価)

評価分野		所見	評価
I	総則	「児童館ガイドライン」等に基づき、設置目的を踏まえた施設運営上の基本方針を定め、職員への共通理解を図るとともに、館内掲示等で利用者にも周知している。職員の倫理保持・服務規律遵守については、研修や会議、チェックシートで確認する取り組みを行っている。また、地域の特性やニーズを踏まえながら各事業に取り組み、施設目的の達成に努めている。	33/33
II	施設の運営管理体制	職員の配置や業務内容の共有、開館の実績、経理書類の作成、個人情報の保護等について適切な管理体制が構築されている。また、各種マニュアルの整備、施設内外の点検、毎月の避難訓練等の実施により、利用者の安全に留意した運営に取り組んでいる。	30/30
III	施設・設備の維持管理	日常的・定期的な点検や清掃により、建物・設備・外構等が適切に維持管理されている。備品や鍵の管理も適切に行われているほか、施設内外の巡回や仙台市環境行動計画に則った取り組みも実施されており、安全で快適な環境が保たれている。	23/23
IV	サービスの質の向上	名札の着用、児童館だよりの発行、ホームページの更新による利用情報の提供等、利用者が利用しやすい環境づくりに努めている。また、各種研修会への参加を通して職員の専門性を高めているほか、意見箱の設置、アンケートの実施等で利用者のニーズを把握し、施設運営に生かすなど、サービスの質の向上に努めている。	28/28
V	施設固有の基準	児童クラブにおいては、月に一度の「子ども遊び委員会」や清掃活動におけるリーダーの選出などを通し、子ども達の主体的な成長を促す機会を設けている。また、職員から様々な遊びを提示し、一緒に遊びながら教えていくことで、子ども達の日常の遊びの幅を広げている。日常的な情報共有をはじめとした学校との連携体制はもとより、保護者に対しても館内に「カンスタグラム」として子ども達の日々の様子を写真等で張り出し、視覚的に伝えるなど創意工夫を凝らしながら丁寧な関りを持っている。	18/18

### 三 評価総括

#### 《指定管理者（公益財団法人仙台ひと・まち交流財団）による自己評価》

当館の特色ある事業の一つとして区の主要施設が集中する立地環境の強みを生かした各種関係機関との連携協力があります。同じ建物内にある「のびすく若林」との連携では、「遊びのひろば・のびすく訪問隊・七夕飾り・クリスマス飾り」、若林区中央市民センターとの連携では、「ポッチャ教室・おすもう・自転車教室」、社会福祉協議会との連携では「冬のお楽しみ会」などを実施しました。特に「ハロウィン」では、近隣の関係七機関及び高等学校の協力のもとで楽しく行事を実施することができました。更に今年度は新たに児童館と若林区役所との連携協力が進み、「野菜の苗植え・収穫作業・クリスマス飾り」など小学生と区役所職員が一つになって取り組む姿が見られました。

二つ目の特色ある事業として、小学生と市民センター利用者・中高生との世代間・地域交流を目的とした「若チュウサマースクール・ウィンタースクール」があります。サマースクールでは、卓球サークルの方々と共に実施した「ピンポンを楽しもう」、子育て支援クラブと共催による「木とあそぼう」、ほかにも「オセロ若中杯」「ポッチャ教室」などを開催しました。一方、ウィンタースクールでは中学校吹奏楽部による「クリスマスコンサート」や「サクラマスの飼育」「サケについて学ぼう」などを実施しました。両スクールとも主に学校の長期休業中に開催しており、多くの参加が見られました。

その他、「子ども遊び委員会」では、児童館での遊びや生活について児童自身に考えさせる機会を与え自律心の育成を図ってきました。小学生が運動に親しむ機会を設けるために「スポチャレ」「体育館で遊ぼう」等の行事を隔週で開催しました。乳幼児親子行事に関しては、毎月の定例行事のほかに、行政機関・子育て支援クラブ・地域ボランティア団体との連携行事や利用者のニーズに沿った企画行事を計画し実施することができました。

#### 《施設設置者（仙台市）による評価》

#### 総合評価

児童館事業全般にわたり、立地条件を活かした様々な関係機関との連携事業が充実している。

複合施設に入るのびすく若林とは、普段から双方の職員が日常的に連絡を取り合い、行事の時期や内容についてあらかじめ情報を共有した上でお互いの予定を掲示し、遊びの内容や遊具が重ならないよう変化を持たせるなど、乳幼児親子がそれぞれの施設を利用しやすい環境づくりに努めている。また、小学校高学年の子ども達がのびすくに読み聞かせに行くなど、それぞれの特色を活かして交流事業を行い、異年齢交流を通して社会性を育んでいる点が評価できる。

小学生対象事業では、若林区役所の職員で組織された「WAK」との畑活動や七夕飾りづくりでの交流、市民センターを利用する団体との卓球やポッチャでの交流など、様々な体験活動を通じて、子ども達の新たな物事に取り組む意欲や社会性を育んでいる。

また、南小泉児童館では、和文化に親しむ「和んだ一くらぶ」や毎月様々な内容で催される「若チュウタイム」、運動遊び行事の「スポチャレ」など小学生を対象としたプログラムはもとより、中高生の利用が多いことを踏まえ、市民センターの体育館を利用した「体育館で思いっきりスポーツ」や児童館の遊戯室での運動遊びを中心とした「中高生タイム」など中高生向けのプログラムも充実しており、身近な地域の子ども達の居場所や遊び場として幅広い世代に定着している。

S

### 四 その他特記事項

（上記評価項目の他に、指定管理者の優れた取り組み等、特に記載すべき事項があれば記載する）

#### 特記事項

◎ 評価担当課（施設所管課）：子供未来局子供育成部児童クラブ事業推進課